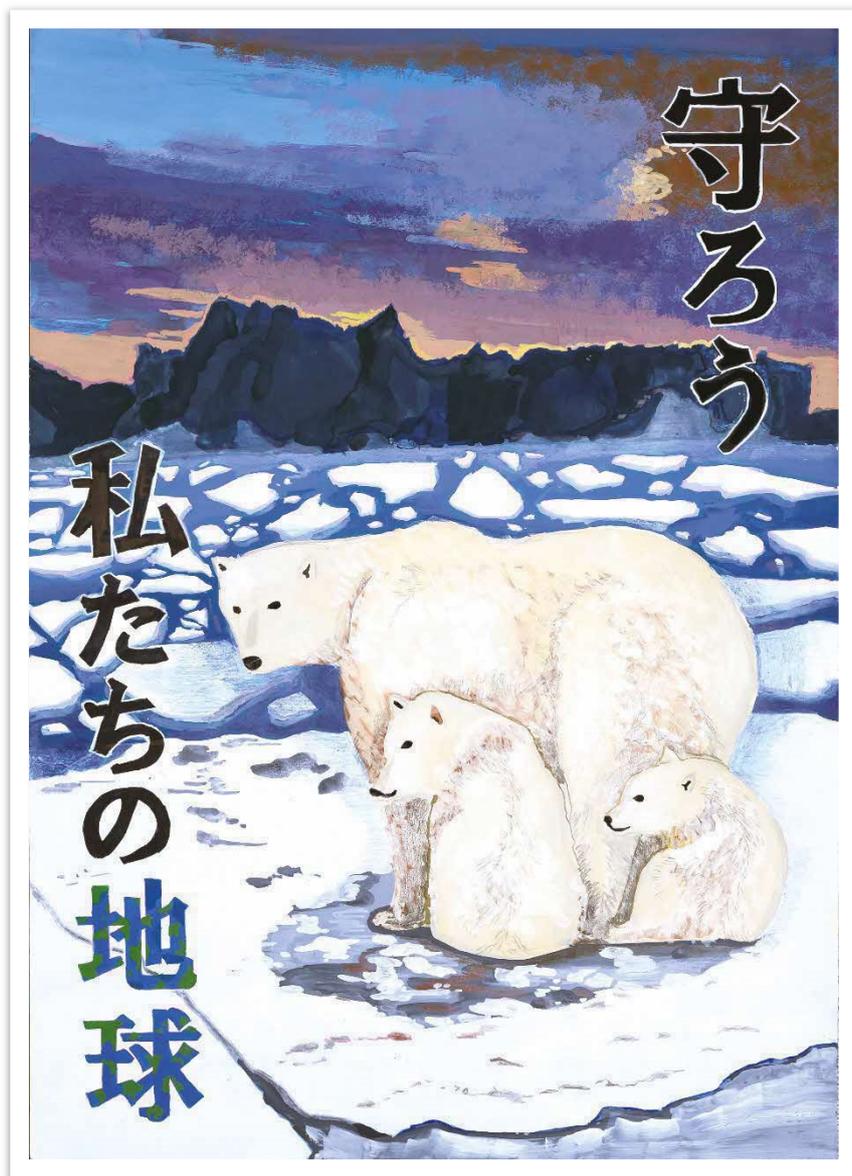




第1章 計画の理念



❖ 令和6年度環境保全ポスター図案コンクール 金賞作品

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

資料編

❖ 本文中の語句の末尾に「*」があるものは、資料編の用語集に用語解説があります。



第1章 計画の理念

地球温暖化が進むと、気温が上昇するだけでなく地球全体の気候が大きく変化します。既に世界各地で、気温の上昇や大雨の頻度の増加、農作物の品質低下、動植物の分布域の変化、熱中症リスクの増加等、様々な影響が現れており、人々の生活、自然環境、社会、経済にも重大な問題を引き起こしています。

今後、地球温暖化の進行に伴い、猛暑や豪雨等の気候変動によるリスクはさらに高まることが予測されており、気候変動への対策を適切に行っていかなければ、地球環境のバランスが崩れ未来の地球に今のように住み続けることができなくなる可能性が出てきます。

地球温暖化その他の気候変動に対処し、区民の生命・財産を将来にわたって守り、経済・社会の持続可能な発展を図るためには、温室効果ガス*の排出削減等対策に取り組むとともに、様々な影響に備え、回避・軽減を図る適応策*にも適切に取り組む必要があります。

このような背景の中、区においては、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指し、将来世代が生きていく環境を持続していくため、暮らしの中での身近な環境への取組から地球全体の環境までを意識して、地域一丸となって地球温暖化対策を推進していきます。

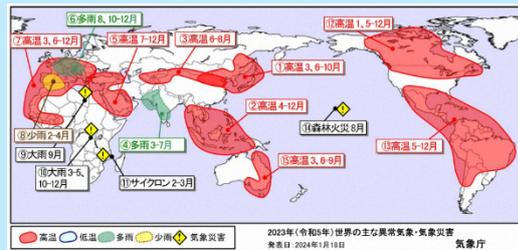


コラム 気候変動による影響を知る

気候変動による影響は既に各地で観測されており、この先ますます大きくなると予想されています。これまでの気候変動関連のデータや、将来予測されている気候変動による影響については、気象庁や国立環境研究所などのホームページで見ることができます。ここではその一例を紹介します。

気候変動監視レポート（気象庁）

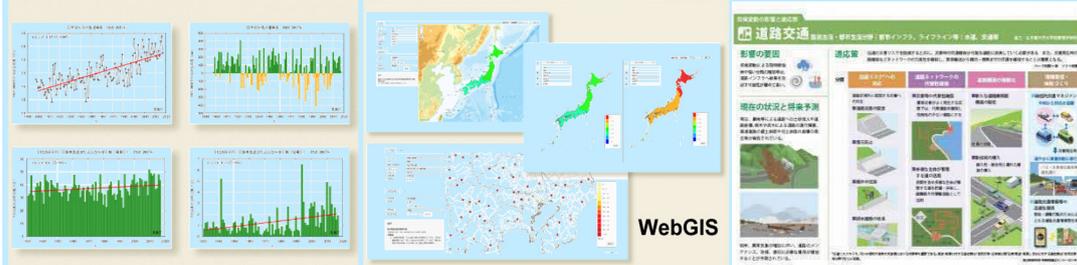
気象庁では、国内外の関係機関と協しつつ、気候変動に関する観測・監視等を積極的に推進しています。これらの成果として「気候変動監視レポート」が気象庁から毎年刊行されています。また、日本の地域ごとの気候変動についても管区気象台から数年おきに刊行されています。



2023年に発生した主な異常気象・気象災害

A-PLAT（国立環境研究所）

A-PLATは気候変動適応情報プラットフォームの略称で“エー・プラット”といいます。気候変動影響の過去のデータや将来予測、気候変動適応に関する取組事例などが紹介されています。



過去の気象観測データの例

気候変動の将来予測の例

気候変動適応策の例

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

資料編